

平成24年度決算

普通会計決算認定特別委員会説明資料

農林水産部

目

次

| | | |
|-----|-----------------------|----|
| I | 平成24年度農林水産部主要施策の成果の概要 | 1 |
| II | 主要事業の内容及び成果 | 7 |
| III | 歳入歳出決算額 | 18 |
| 1 | 一般会計決算額 | 18 |
| (1) | 歳入決算額 | 18 |
| (2) | 歳出決算額 | 19 |
| 2 | 特別会計決算額 | 20 |
| (1) | 歳入決算額 | 20 |
| (2) | 歳出決算額 | 21 |

I 平成24年度農林水産部主要施策の成果の概要

農林水産業を取り巻く状況は、従事者の高齢化や担い手の不足、販売価格の低迷といった従来からの課題に加え、食の安全性への不安、TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）をはじめとする「グローバル化」の進行による競争の激化など、新たな懸念が生じており、そのような中、世界的な食料危機、日本の食料自給率の低下などにより、安全で安心な食料の安定供給に対する関心が増大しており、農林水産業の果たすべき役割は、ますます重要なものとなっております。県土保全や水源かん養、地域社会の安定や文化歴史の伝承など多面的な機能を果たすとともに、農林水産業の従事者が明るく安心して暮らすこと、農林水産業への期待に応え、もうかる農林水産業・農山漁村基盤計画に基き、このようになり、農林水産業を「次世代林業プロジェクト」をはじめとする「攻めの農林水産業施策」を展開して参りました。

I 本県の特長を生かした豊かで充実した食料の提供

- (1) 食料供給機能の強化による食料自給率の向上
食料自給率の向上に向け、水田づくりや、新規需要米、表、大豆の作付けの拡大を図るとともに、「農業者戸別所得補償制度」を活用し、需要に応じた米管農毛「ザル」を提示し、普及に努め、耕作放棄地の解消を図り、農地の確保を図りました。
また、技術開発のため、「徳島型水田普及を通じ、農地の確保を図りました。」
(農林水産政策課・もうかうかラウンド推進課・農林水産総合技術支援センター)
- (2) 安全で安心な食料の安定供給
生産履歴管理の適正使用し、GAP（農業生産工程管理）を導入した「とくしま安心農産物（安²GAP）認証制度」を推進するとともに、農薬の適正使用の徹底、口蹄疫や高病原性鳥インフルエンザ等の家畜伝染病対策、産動物獣医療の安定的確保など家畜衛生の推進、農林水産物の流通処理・加工、流通施設の近代化等により安心な食料の供給に努めました。
(もうかうかラウンド推進課・畜産課・農林水産総合技術支援センター)
- (3) 食育及び地産地消の推進
徳島県民の「野菜摂取量不足」を緊急的課題とし、ユニエンスなどの「食育推進ポランティア」の方々と連携し、「野菜摂取量の向上」を県内各地で推進し、食育推進活動を実施した。
また、県民が本県の多種多様な農産物の消費拡大を図るため、県産農林水産物の積極的な消費促進や、農林水産業者と消費者との交流拡大により、地産地消を推進しました。
(もうかうかラウンド推進課)

⑤ 水産業の振興

水産物の安定した生産及び供給を図るため、水産物の品質保持や衛生管理に対応した生産施設及び流通高品質かつ安全で安心な水産物の安定した生産及び供給を図るため、水産物の品質保持や衛生管理に対応した生産施設及び流通施設等の整備を推進するとともに、「徳島の活躍ブランド確立対策協議会」、「徳島県わかめ増産・販路拡大対策協議会」等を通じて水産物の認知度向上・消費拡大に努めました。

また、藻場造成などの漁場整備を進めるとともに、効果的かつ効果的な種苗の放流による栽培漁業を推進しました。

(水産課)

(3) 優良な生産基盤の整備及び保全等

① 優良な生産基盤の整備及び保全

「とくしま賀川下流域」農作物を効率的かつ安定的に生産するため、農地、農道、用排水路等の農業生産基盤の整備を行いました。特に、吉野川や那賀川の流域で、優良な農業用水の確保と生産性の高い農地の整備・保全を推進しました。

また、林業・木材産業の振興等を通じた中山間地域の活性化を図るため、木材の搬出コストの低減や森林の適切な管理に不可欠な林道等の路網整備を行いました。

さらに、安全で快適な漁村づくりや力強い産地づくりを行うため、漁港及び海岸の整備や藻場造成などの漁場づくりを計画的に推進しました。

(水産課・農村振興課・農業基盤課・森林整備課)

② 農林地及び漁場の適切な管理及び有効利用

農業生産の基盤である農地の発生防止及び有効活用を図るため、担い手等への利用集積を推進するとともに、「徳島県耕作放棄地解消基本指針」に基づき農林地の適切な管理を行うため、農地所有者等が行うための境界を明確にする必要であることから、地籍調査を推進するとともに、効率的な森林施業を進め、森林の確保と漁業の向上を図るため、資源管理型漁業の定着化を推進するとともに、密漁等を防止するたため、漁業取締りを実施し、漁場の秩序ある利用を推進しました。

また、農林地の適切な管理を行うため、農地所有者等が行うための境界を明確にする必要であることから、地籍調査を推進するとともに、効率的な森林施業を進め、森林の確保と漁業の向上を図るため、資源管理型漁業の定着化を推進するとともに、密漁等を防止するたため、漁業取締りを実施し、漁場の秩序ある利用を推進しました。

また、農林地の適切な管理を行うため、農地所有者等が行うための境界を明確にする必要であることから、地籍調査を推進するとともに、効率的な森林施業を進め、森林の確保と漁業の向上を図るため、資源管理型漁業の定着化を推進するとともに、密漁等を防止するたため、漁業取締りを実施し、漁場の秩序ある利用を推進しました。

(水産課・農林水産総合技術支援センター・農村振興課・林業戦略課)

(4) 多様な担い手の育成等

① 農山漁村ふるさと回帰勢の中での雇用・経済・雇用情勢の推進

農山漁村ふるさと回帰勢の中での雇用・経済・雇用情勢の推進を図るため、離職された方々を積極的に農林水産業の担い手として育成するため、農林水産業への就業を希望する方々を対象とした相談窓口の開設と就業相談への対応を行うとともに、森林組合等でのOJT研修など総合的な支援により、受入体制の整備を図りました。

(農林水産政策課・水産課・農林水産総合技術支援センター・農業基盤課・林業戦略課)

② 農業の担い手の育成

多様な担い手の確保を図るため、国の青年就業給付金を活用した新規就農者の確保や集落営農組織の育成、女性農業者の地域社会への参画促進を行うとともに、農業系の本県での就業体験や他産業からの農業参入支援に取り組みました。

また、農業の担い手の育成の中心である農業系の本県での就業体験や他産業からの農業参入支援に取り組みました。取組み強化に取組みました。

(農林水産総合技術支援センター)

③ 林業の担い手の育成
 地域の人材やU・I・Tアター者などを新規林業就業者として受け入れるとともに、建設業など他産業からの参入を促進し、中山間地域の雇用の受け皿として、幅広く担い手の確保を図りました。
 また、高効率団地で活動する林業事業体の強化と合わせ、初心者からベテランまで、技術・技能を段階的に習得する効率的な人材育成を推進しました。

(林業戦略課・森林整備課)

④ 水産業の担い手の育成
 活力ある担い手を確保するため、新たに漁業にチャレンジしようとする方々の就業を支援するとともに、優れた担い手を育成するため、漁村の中核的存在である若年漁業者や女性等の活動を支援しました。
 また、活力ある水産業の「再生」を図るため、次世代を担う漁業者の育成・確保に必要な「漁業人材育成プログラム」を策定しました。

(水産課)

⑤ 農林水産関係団体の組織強化及び指導等

活力ある農林水産関係団体の健全な運営を確保するため、各団体が主体的に取り組む組織再編及び事業・経営基盤の強化を支援しました。
 また、農林水産関係課・水産課・農村振興課・農業基盤課・林業戦略課)

(5) 地球環境の保全への貢献等

① 地球環境の保全への貢献
 農林水産業の自然循環機能を活用することにより、地球環境の保全に貢献する農林水産業を推進するとともに、地球温暖化に対応する技術開発、生物の多様性や自然エネルギーを活用した農産物の生産技術の実証、省エネ型の生産技術の導入支援、使用済農業用資材の適正処理及び畜産管理費の軽減や施設機械の保全を行い、農業の振興を図るため、農村地域に豊富に存在する農業用水や太陽光とを有効に配慮した農産物の循環利用や化学肥料・化学農薬の使用量の低減を図り、有機農業等の環境に配慮した農業を推進するため、農産物の適正処理及び畜産管理費の軽減や施設機械の保全を行いました。
 また、地球温暖化防止に向けた京都議定書(2008年～2012年)に基づく森林吸収量の目標を達成するため、計画的な間伐や植林等を着実に実施するとともに、水源林など環境面で重要な森林については、公有林化や公的管理による保全を推進しました。
 (林業戦略課)

② 環境に配慮した農林水産業の推進
 有機質資材の循環利用や化学肥料・化学農薬の使用量の低減を図り、有機農業等の環境に配慮した農業を推進するため、農産物の適正処理及び畜産管理費の軽減や施設機械の保全を行いました。
 また、地球温暖化防止に向けた京都議定書(2008年～2012年)に基づく森林吸収量の目標を達成するため、計画的な間伐や植林等を着実に実施するとともに、水源林など環境面で重要な森林については、公有林化や公的管理による保全を推進しました。
 (林業戦略課)

(畜産課・水産課・農林水産総合技術支援センター・農村振興課・林業戦略課)

- (6) 新たな技術の開発及び普及
 農林水産総合技術開発センターの再編・機能強化を図るため、PFI手法により新拠点の整備を行いました。農林水産物の供給を図る技術の開発を進めました。
 「もも」の開発など、これまでに得られた成果は、速やかに生産現場へ普及を図りました。本県農林水産物のブランド力強化や安全・安心な農林水産物の供給を進めました。次世代技術の開発を進めました。
 (畜産課・水産課・農林水産総合技術支援センター・林業戦略課)
- (7) 農工商連携・6次産業化の促進
 農林漁業者が取り組む6次産業化や農工商連携の取組みを図るため、商品開発や販路開拓等についてアドバイスを行うとともに、商品試作や商店との連携協定に基づき、徳島大学工学部にも工業にも「農工商連携スタディーズ」において、県の研究員が農林水産物の最新研究成果や栽培技術を紹介し、農業にも工業にも通じた新たな視点・発想力を持つ人材の育成を行いました。
 (ももかうかろブランド推進課・水産課・農林水産総合技術支援センター)
- 3 本県の特長を生かした農山漁村の活性化
- (1) 魅力ある農山漁村づくり
 自然景観等を活用した魅力ある地域づくりを進めるため、中山間地域において、住民参加による計画づくりを進め、豊かな環境や景観に配慮しつつ、区画整理や農業用排水施設等の生産基盤と、集落道、管農飲雑用水施設等の生活環境基盤を総合的に整備し、農山漁村における快適な生活環境づくりを進めました。
 (農村振興課)
- (2) 中山間地域等への支援
 集落の将来像の明確化とその実現に向けた活動を進め、耕作放棄の防止や多面的機能の確保を図るため、生産条件の不利な農地を対象に、「中山間地域等直接支払事業」の着実な実施を推進し、地域の活性化を図りました。
 (農村振興課)
- (3) 農山漁村と都市との交流促進
 農山漁村と都市との交流促進を図るため、農山漁村の持つ自然、歴史、文化等の魅力ある地域資源の健康的・ゆとりある生活の達成と農山漁村の活性化を図るため、農山漁村のPRを行うなど、都市と農山漁村との交流を促進しました。
 (農村振興課)
- (4) 鳥獣による被害の防止
 農作物への被害防止対策を効果的に実施するため、地域協議会による侵入防止柵の整備などの活動を支援するとともに、鳥獣被害防止プログラム等の普及・啓発活動を実施しました。
 また、捕獲したシカなどを食肉として利用するジビエ料理の普及とPRを実施しました。
 (農村振興課)

- (5) 自然災害に強い農山漁村づくり
 自然災害から農山漁村の生命・財産を守るため、災害予防の観点から関連事業を実施し、自然災害に強い農山漁村づくりに取り組みました。
 特に、南海トラフ巨大地震の被害により被災が想定される農地や農用施設の早期復旧及び営農再開に備えるため、農業版BCPを策定するとともに、早期復旧シナリオの構築や体制整備を推進しました。
 また、県土の保全、水源のかん養等の森林の有する公益的機能の維持増進を図るため、保安林の整備拡充及び林地開発許可制度による森林の適正な管理・保全を行いました。(水産課・農林水産総合技術支援センター・農村振興課・農業基盤課・森林整備課)

4 県民等の参画及び協働による潤いと安らぎのある農山漁村の保全

- (1) 県民等の農林水産業への参画
 県と「農山漁村(ふるさと)協働パートナー協定」を締結した大学、企業、NPO法人等が、農山漁村地域住民と棚田の稲刈り、耕作放棄地復元活動、中山間地域の振興に関する研究などの協働活動を行うことにより、農山漁村の保全・活性化が図られるよう支援しました。「徳島の豊かな森林」を守り育て、次世代へと継承するため、県民や企業、団体、行政などがそれぞれの役割に応じた連携と協力による「登山森林公園イルロローザの森」等において、森づくり体験活動や普及啓発事業を実施しました。(農村振興課・林業戦略課)
- (2) 協働による農山漁村の保全活動の推進
 “まちなか”の協働による農山漁村の保全を推進するため、企業や大学などの団体のネットワークづくりを進め、二酸化炭素の削減を植林や間伐等による森の吸収体と協働した森づくりを推進しました。
 くりまき事業により、農地・農業施設等の良好な保全と質的向上を図るため、「農地・水保全管理交付金事業」によって、地域ぐるみの保全活動を推進しました。(農村振興課・林業戦略課)

II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

| 項 目 | 事 業 名 | 事 業 内 容 及 び 成 果 |
|--------------------------|----------------------------|--|
| 1 本県の特長を生かした豊かで充実した食料の提供 | 農業者戸別所得補償制度推進事業 | 農業者戸別所得補償制度の円滑な実施を図るため、地域農業再生協議会等が行う制度周知、作付面積の確認、水田台帳の管理業務等を支援した。 (61,070) |
| (1) 食料供給機能の強化による食料自給率の向上 | とくしま安 ² GAP推進事業 | 消費者に安全安心で環境にやさしい農産物を提供するとともに、農作業の改善によるコスト縮減・品質向上等を図るため、GAP(ギャップ＝農業生産工程管理)を取り入れた「とくしま安 ² 農産物(安 ² GAP)認証制度」の推進を図った。 |
| (2) 安全で安心な食料の安定的な供給 | 家畜伝染病予防事業 | 口蹄疫や高病原性鳥インフルエンザ等の家畜伝染病の発生予防及びまん延を防止するため、家畜伝染病予防法に基づき検査等を実施した。 (6,300) |
| | 牛海綿状脳症検査事業 | BSE対策特別措置法に基づき、死亡牛(24ヶ月齢以上)のBSE検査の実施と併せて、死亡牛の適正処理を推進した。 (12,354) |
| | 高病原性鳥インフルエンザモニタリング検査事業 | 死亡野鳥等の調査、ウイルス分離検査等を実施し、ウイルス保有状況を把握することで、高病原性鳥インフルエンザ発生防止対策の強化を図った。 (6,906) |
| (3) 食育及び地産地消の推進 | とくしま食育推進事業 | 食に関する普及啓発活動を展開し、個人の生活場面やライフステージに応じた食育を地産地消と併せ、総合的かつ計画的に推進した。具体的には、「とくしまの食事バランスガイド」の普及や、「新鮮なっ! とくしま」号を活用した食育イベントを開催する等、各種食育推進キャンペーンを実施し、県民運動としての「食育」を推進した。 (797) |
| 2 本県の特長を生かした農林水産業の振興 | | (2,311) |

| | | | |
|--------------------------------|---|---|--|
| <p>(1) とくしまブランドの創出及び海外への進出</p> | <p>「飛び出す」ブランド産地育成事業 走る「とくしまブランド」展開事業 とくしまブランド輸出強化対策モデル事業 畜産3ブランド供給基盤強化事業</p> | <p>消費者ニーズの把握と掘り起こし、販売スキム向上プログラムの実施、新たな販売方式の実証と「とくしま特選ブランド」の創出などにより、消費者の「潜在的なニーズ」を実現する産地、売れるモノを作る「消費感度の高い産地」の育成を図った。 県産農林水産物の消費拡大を図るため、「新鮮 なっ!とくしま」号及び「とくしまブランド協力店」の情報発信力の強化を図るとともに、「美味いよ!とくしまブランド店」の登録拡大などにより、消費者に積極的にPRした。 本県農林水産物の輸出を促進するため、「農林水産物海外輸出戦略会議」を核とし、海外マーケット調査や新たな輸出国の開拓、海外協力店の活用等の取組みを進めた。 災害時における畜産ブランドの生産力低下等の軽減やリスク分散を図り、迅速に再生産可能な生産基盤の構築に必要な施設等の整備を支援した。</p> | <p>(15,390)</p> <p>(22,828)</p> <p>(7,033)</p> <p>(15,710)</p> |
| <p>(2) 農林水産業の振興</p> | <p>① 水田農業の振興</p> | <p>ブランド品目である徳島の活鱧の確固たる地位を築くため、「日本三大はも祭り」でのPR強化、首都圏等における需要の新規開拓を行うとともに、はもをはじめとした徳島の美味い魚を味わえる店情報発信した。 農業者戸別所得補償制度を最大限活用した、水田の有効活用や食料自給力の向上を図るため「徳島県水田活用強化戦略」に基づき、転作作物の作付拡大や不作付地の営農再開等の実証などを行った。</p> | <p>(4,700)</p> <p>(1,524)</p> |
| <p>② 園芸農業の振興</p> | <p>「がんばろう日本」野菜パワーアップ応援事業 省エネ循環型農業推進事業</p> | <p>原発事故等の影響により全国的に供給力低下が懸念される野菜について、供給の下支えを行うことができれば、産地強化対策に取り組み、本県野菜産地のパワーアップを図った。 農業経営における温暖化防止や燃油・肥料高騰に対応する取組みに必要な機械や施設の整備を支援した。</p> | <p>(4,717)</p> <p>(5,050)</p> |

| | | |
|---------------------------------|---|--|
| <p>③ 畜産業の振興</p> | <p>「いけるよ!とくしまの畜産」 経営革新モデル支援事業</p> <p>これで安心!「阿波畜産3ブランド」 基盤強化事業</p> <p>第10回全国和牛能力共進会助成 事業</p> | <p>飼料価格の高騰、伝染病の発生など外部環境の変化に対応し、収益性の高い畜産経営を確立するため、経営革新のモデル的な取り組みを総合的に支援した。 (13,610)</p> <p>畜産3ブランドである「阿波牛」,「阿波ポーク」,「阿波尾鶏」の生産及びブランド力を守るため、危機管理体制の強化,迅速な再生産可能な体制の構築を推進した。 (16,640)</p> <p>和牛改良技術及び「阿波牛」の知名度向上による肉用牛肥育経営の安定化を図るため,全国和牛能力共進会への出品経費に対して助成した。 (944)</p> |
| <p>④ 林業及び木材産業の振興 林業生産対策</p> | <p>林業力倍増基盤整備促進事業</p> <p>新林業生産システム導入支援事業</p> | <p>県産材の生産拡大を図るため,先進林業機械の導入や路網整備,大規模で効率的な流通システムの定着を促進するとともに,建設業等からの新規参入を支援した。 (140,253)</p> <p>県産材の生産拡大に必要な高性能林業機械の導入に対し,県費の上乗せ助成を実施した。 (5,576)</p> |
| <p>イ 木材加工対策</p> | <p>徳島すぎグレードアップ事業</p> | <p>県産材の需要拡大を進めるため,製材JAS等の品質管理や供給体制の確立を図るとともに,「木造施設支援マニエール」を作成し,また,建築士の養成講座を開催するなど,木材利用を推進する人材の育成を図った。 (4,906)</p> |
| <p>ウ 木材利用対策</p> | <p>先駆的木造公施設整備事業</p> <p>徳島すぎの家ウッド通貨モデル 事業</p> | <p>市町村等が実施する県産材を利用した展示効果やシンボル性が高い公施設の整備に対して支援し,県産材の利用を推進した。 (249,601)</p> <p>個人住宅や店舗等における県産材利用を推進するため,県産材を利用した施主に対して県産木材製品と交換できるウッド通貨を提供した。 (40,348)</p> |
| <p>エ 林業対策の加速化</p> | <p>森林整備加速化・林業飛躍事業</p> | <p>東日本大震災の本格復興に必要な木材の安定供給体制の確立と競争力のある林業・木材産業づくりを進めるため,「森林整備加速化・林業飛躍基金」を活用し,境界の明確化や搬出間伐,路網,林業機械,木材加工施設の整備,人材育成などを一体的に実施した。 (4,668,142)</p> |

| | | |
|---|---|--|
| <p>⑤ 水産業の振興</p> | <p>種苗生産施設管理費</p> | <p>放流種苗の計画的な供給を図るため、種苗生産施設の運営、施設整備を行った。 (161, 191)</p> |
| <p>(3) 優良な生産基盤の整備及び保全等</p> <p>① 優良な生産基盤の整備及び保全</p> <p>7 農業生産基盤の整備及び保全</p> | <p>浅海内水面増殖対策費</p> <p>水田の整備</p> <p>農道の整備</p> <p>用排水路の整備・保全</p> | <p>河川における重要魚種であるアユの資源維持増大を図るため、漁業者が行う種苗放流に対し支援を行った。また、水産上重要な魚種に対するカワウの被害について、状況調査及び防除対策事業を行う際に補助を行った。 (3, 780)</p> <p>農業の生産性の向上や消費者が求める多種多様な作物が栽培できるよう、地域に応じたほぼ場条件の整備を推進した。併せて、担い手への農地集積を促進することにより、将来の農業生産を担う経営体の育成を図った。 (594, 373)</p> <p>生鮮食料品や農業資材等の効率的な輸送と農山村地域の生活環境の改善に資する農道の整備を進めた。 (938, 631)</p> <p>農業生産の基礎となる農業用水の安定供給と排水不良を解消し、多様な作物が栽培できるよう、農業用排水施設の整備や保全対策を推進した。 (3, 606, 871)</p> |
| <p>イ 林業生産基盤の整備</p> <p>ウ 漁業生産基盤の整備及び保全</p> | <p>森林基盤整備事業</p> <p>建設業新規参入促進事業</p> <p>地域水産物供給基盤整備事業</p> | <p>「森林の適正な整備促進と効率的な木材搬出のための基盤となる林道を整備し、「次世代林業プロジェクト」の推進に寄与するとともに山村地域の活性化に向けた取組みを実施した。 (2, 295, 047)</p> <p>高能率団地をつなぐ複合路網の整備を支援するとともに、建設業等からの新規参入を図るため、林業に必要な機械を確保するために行う建設機械の改良や林業機械の借り上げに対する支援を行った。 (44, 015)</p> <p>第2種漁港を計画的に整備し、水産物の安定供給と漁業地域の活性化を図った。 (321, 494)</p> |

| | | |
|------------------------------|--|---|
| | <p>広域漁港整備事業</p> <p>水産物供給基盤機能保全事業</p> <p>水産基盤整備調査事業</p> <p>県単独漁港漁場整備事業</p> | <p>第2種、第3種漁港の計画的な整備による水産物の生産・流通拠点づくりを推進し、水産物の安定供給を図った。(702,686)</p> <p>管理を体系的に捉えた計画的な取組みにより、施設の長寿命化を図りつつ更新コストの平準化・縮減を図った。(58,072)</p> <p>漁港・漁場施設を整備するための地形測量、現況調査、設計、関係者との検討・協議等を行い、国補採択及び事業実施に必要な要件となる要件を整えとともに、既存施設の維持管理に必要な調査を実施した。(1,766)</p> <p>県管理漁港において、施設の機能の維持・向上に必要な国庫補助対象外の小規模な改良工事等を実施した。また、国に対し新たな事業の創設について提言を行うため、本県独自の薬場造成技術の実証実験を行った。(29,284)</p> |
| <p>② 農林地及び漁場の適切な管理及び有効利用</p> | <p>就農・農地集積等支援事業</p> <p>耕作放棄地解消促進実証事業</p> <p>地籍調査事業</p> <p>森林計画編成事業</p> <p>森林施業集約化支援交付金事業</p> | <p>就農者の定着を図るための初期投資と、農地集積により規模拡大を図る取組みに必要な機械や施設の整備を支援した。(1,514)</p> <p>市町村が作成する「耕作放棄地解消計画」に沿って、農業者等が解消農地を借り受け、経営規模の拡大を図るなど、解消農地を有効活用するために必要な機械や施設の整備を支援した。(8,157)</p> <p>一筆ごと土地について、その実態を明らかにするため、登記簿に記載された所有者の表示事項の確認、土地の所在・地番・地目等の調査、境界の測量、面積の測定を行い「土地に関する戸籍」の整備を行った。(642,388)</p> <p>適切な森林管理や地域森林計画の編成に必要な資源調査や森林GISデータ等の整備を実施した。(9,530)</p> <p>森林の有する木材生産や公益的機能の発揮、林業の持続的発展を図るため、森林整備の実施に必要な施業集約化や森林経営計画の作成、作業道の補修などの活動を支援した。(77,342)</p> |

| | | |
|--|--|---|
| <p>(4) 多様な担い手の育成等</p> <p>① 農山漁村ふるさと回帰プロジェクトの推進</p> | <p>漁業取締船運航管理費</p> | <p>漁業秩序を維持するため、漁業取締船「つるぎ」及び「せんば」の運行及び維持管理を行った。 (74,243)</p> |
| <p>② 農業の担い手の育成</p> | <p>「認定帰農者」の支援</p> <p>認定農業者等担い手育成対策事業</p> <p>とくしま農地と人を繋ぐネットワーク構築事業</p> | <p>地域農業の担い手の若返りを図るため、本県に農業経営の基盤を持つ意欲の高い帰農者を「認定帰農者」として認定し、アグリテックノスタールの「認定帰農者支援コース」での研修など「認定帰農者」支援プログラムにより就農に向けた支援を実施した。 (2,850)</p> <p>認定農業者制度の普及・啓発、農業経営の法人化、集落営農の組織化に向けた相談活動など、「担い手育成総合支援協議会」の活動を支援することにより、本県農業を支える「多様な担い手」の確保・育成を図った。 (1,954)</p> <p>農業への参入を希望する企業に対し参入に関する相談や研修会を実施することにより、円滑な農業参入を支援するとともに、農商工連携研修会を通じて担い手農業者の経営改善を図った。 (1,536)</p> |
| <p>③ 林業の担い手の育成</p> | <p>戸別所得補償経営安定推進事業</p> <p>徳島県森林整備担い手対策基金事業</p> <p>次世代林業を担うプロフェッショナル養成事業</p> <p>建から林へ！林道まるごと地域力活用モデル事業</p> | <p>地域の中心となる経営体への農地集積や地域農業のあり方等を記載した「人・農地プラン」の作成を支援した。 (7,540)</p> <p>新規林業就業者の確保・育成を図るため、「緑の研修生」及びU・Iターン者等新規就業者を対象に、社会保険料、住宅手当及び技術研修受講等に要する経費について助成した。 (5,394)</p> <p>初心者からベテランまで、技術・技能の段階的な習得が図られるよう、林業技術や安全研修など、各種研修を一元的に体系化し、次世代林業に対応するプロフェッショナルを養成した。 (13,915)</p> <p>林道開設工事と作業路開設、搬出間伐を建設業者へ一括発注し、建設業から林業への参入を促進した。 (5,160)</p> |

| | | |
|--|--|---|
| <p>④ 水産業の担い手の育成</p> | <p>漁業担い手確保・育成総合対策モデル事業</p> | <p>漁業士会等が行う魚食普及活動や海岸清掃等の活動、漁協や漁業士会が行う新規就業者の確保・育成のための取組みを支援した。また、漁業技術に加え、6次産業化や農工商連携等の「知識やノウハウ」を習得する「漁業人材育成プログラム」を策定した。</p> <p>(871)</p> |
| <p>⑤ 農林水産関係団体の組織強化及び指導等</p> <p>(5) 地球環境の保全への貢献等</p> <p>① 地球環境の保全への貢献</p> | <p>農林団体の整備推進 森林組合組織の整備推進 漁業協同組合組織の整備推進</p> <p>森林環境保全整備事業(造林)</p> <p>とくしま豊かな森づくり推進事業</p> <p>使おう！森のエネルギー活用支援事業</p> | <p>農林水産業を取り巻く環境の変化に対処し、農林水産団体の経営基盤と事業機能の強化を図るため、組織体制の整備を中心に対策を講じるとともに、人権問題に関する啓発等を行った。</p> <p>(465,636)</p> <p>間伐など森林整備を推進するよう、森林施業の集約化による搬出間伐等を行う経営体に直接支援を行うとともに、持続可能な森林を目指し、針広混交林や複層林への誘導、新たな森林への更新を推進した。</p> <p>(784,042)</p> <p>市町村等による森林取得を支援し、民間では進みがたい広葉樹林の育成を図るなど、公有林化の推進によって豊かな森づくりを推進した。</p> <p>(38,264)</p> <p>木質バイオマスエネルギーの地産地消による地球温暖化防止、燃油高騰対策等を進めるため、バイオマス利用施設に係るボイラーの導入診断やペレット購入の支援を行った。</p> <p>(2,000)</p> |
| <p>② 環境に配慮した農林水産業の推進</p> | <p>自然エネルギーで環境に優しい農業推進事業</p> <p>水域環境保全創造成業(藻場)</p> <p>漁場環境保全創造成業(掃海)</p> | <p>環境に配慮した農業の普及を図るため、自然エネルギー等を活用した農業技術の実証等を行うとともに、農産物の生産工程におけるCO₂排出削減効果の「見える化」により、「省CO₂農産物」のブランド化を進めた。</p> <p>(5,013)</p> <p>阿南地区及び海部地区海域において、自然石等を設置することにより、ガラモヤカジメなどの岩礁性藻場を造成し、漁業資源の維持・増大を図った。</p> <p>(45,068)</p> <p>河川等から排出されたゴミ等の堆積により、漁場機能の低下が著しい海域において、堆積物を除去することにより漁場機能の回復と漁場環境の保全を図った。</p> <p>(6,860)</p> |

| | | | |
|---------------------------|------------------------------|---|----------------------|
| | <p>使用済農業資材適正処理推進対策事業</p> | <p>農業生産に使用された廃プラスチックや農薬空容器等が適正に処理されるよう農家の啓蒙に努めるとともに、安全かつ効率的な回収システムの推進を図った。</p> | <p>(1,361)</p> |
| | <p>畜産バイオマス利用整備事業</p> | <p>畜産経営における家畜排泄物の適正管理及び利用の促進に必要な施設の整備について助成するとともに、県内で発生する食鳥副産物の適正処理・再資源化について支援した。</p> | <p>(107,053)</p> |
| | <p>小水力等農業水利施設利活用促進事業</p> | <p>農業水利施設等の維持管理費の軽減及びCO₂削減による地球温暖化対策を図るため、当該施設や施設用地等を活用した再生可能エネルギーの導入可能性について調査・検討などを行い、発電施設の導入を推進した。</p> | <p>(14,894)</p> |
| | <p>未利用地活用再生可能エネルギー実証実験事業</p> | <p>中山間地域の活性化と再生可能エネルギーの地産地消を進めるため、復元が困難な耕作放棄地を活用した小規模な太陽光発電の実証実験を行うとともに、普及促進に必要な調査を実施した。</p> | <p>(750)</p> |
| <p>(6) 新たな技術の開発及び普及</p> | <p>農林水産総合技術支援センター整備運営事業</p> | <p>分散したセンター機能を集約化し、県民へのワンストップサービスの提供や組織の有機的連携による課題解決の高度化、迅速化を図るため、PFI手法により農林水産総合技術支援センターの整備を進めた。</p> | <p>(1,653,086)</p> |
| | <p>新たな技術の開発</p> | <p>農林水産業の生産現場の課題やニーズを的確に把握し、「もうかる農林水産業」を実現するため、「品質や生産性」の向上に直結する新たな技術の開発を行った。</p> | <p>(19,965)</p> |
| | <p>開発された技術の迅速な普及</p> | <p>生産現場において課題の把握と解決に向けた新技術導入等による支援を行い、生産の安定、規模拡大、省力低コスト化等により生産力を強化した。</p> | <p>(16,214)</p> |
| <p>(7) 農工商連携・6次産業化の促進</p> | <p>徳島発新農業ビジネスモデル創出事業</p> | <p>農林漁業者等の「6次産業化」や「農工商連携」を促進するため、商品開発や販路開拓についてアドバイスを行うとともに、新たなビジネスモデルとなる商品開発を支援した。また、販路開拓のためママッチング商談会を開催した。</p> | <p>(2,963)</p> |
| | <p>教育及び研究分野における農工商連携の推進</p> | <p>平成24年4月に徳島大学工学部に創設された「農工商連携スタディーズ」において県の研究員等が講義を行い、農業にも工業にも通じた新たな視点・発想力を持った人材の育成を図った。</p> | <p>(ゼロ予算)</p> |

| | | | |
|-----------------------------|---|---|---|
| <p>3 本県の特長を生かした農山漁村の活性化</p> | <p>(1) 魅力ある農山漁村づくり</p> <p>(2) 中山間地域等への支援</p> <p>(3) 農山漁村と都市との交流促進</p> <p>(4) 鳥獣による被害の防止</p> | <p>中山間地域農村活性化総合整備事業</p> <p>中山間地域等直接支払事業</p> <p>農地・水保全管理支払交付金事業</p> <p>とくしま農山漁村（ふるさと）応援し隊事業</p> <p>住民参加による農山漁村づくり</p> <p>鳥獣被害防止総合対策事業 及び 鳥獣被害防止施設緊急整備事業</p> <p>獣害に立ち向かう農山村づくり モデル推進事業</p> <p>里山の恵みを食卓へ「阿波地菜」推進事業</p> | <p>中山間地域において、生産基盤・生活環境基盤の整備を進め、快適な生活環境づくりを推進した。 (474,344)</p> <p>中山間地域等において、農業生産活動を継続しながら耕作放棄地の発生を防止し、多面的機能を確保することを目的に実施する「中山間地域等直接支払制度」の円滑な推進を図った。 (309,648)</p> <p>農地・農業用施設等の良好な保全と農村環境の向上を図る農業者と地域住民が一体となった共同活動、施設等の補修・更新などの長寿命化に取り組む向上活動を支援した。 (70,507)</p> <p>社会貢献等に前向きな大学・企業・NPO法人等に、「農山漁村（ふるさと）協働パートナー」として農作業や地域コミュニティ活動に応援をいただき、農山漁村地域の保全・活性化を図った。 (3,032)</p> <p>農山漁村の豊かな自然環境や農地・農業用水等の良好な保全と質的向上を図るため、住民参加の協働による地域づくりを推進した。また、地域の活性化や力強い農業を育成するため、地域の提案等に基づいた農業用排水施設等の整備やグリーン・ツーリズムの推進、地域住民の意欲ある取組みに対して支援した。 (3,752)</p> <p>鳥獣被害防止特措法に基づき、被害防止計画を策定した市町村等で組織する地域協議会が実施する侵入防止策の整備などの被害防止の取組みを支援した。 (241,125)</p> <p>綿密な被害実態調査に基づく被害対策指導や鳥獣被害対策指導員の養成等現地指導体制の強化を図るとともに、集落をあげて総合的な対策を実施し、周辺地域の見本となる「モデル集落」の取組みを推進した。 (12,000)</p> <p>捕獲した野生鳥獣を地域資源として、食肉へ利活用するジビエ料理の普及促進を図るため、調理法の研究・開発等を行うとともに、ジビエ推進協力者の顕彰、料理店の認定・PRなどを行った。 (2,278)</p> |
|-----------------------------|---|---|---|

| | | |
|--|--|---|
| <p>(5) 自然災害に強い 農山漁村づくり</p> | <p>耕地地すべり防止事業 ため池等整備事業 治水防除事業 治山事業 林野地すべり防止事業 県単独治山事業 津波・塩害対策農業版BCP策定 事業 漁港海岸保全施設整備事業</p> | <p>国土の保全と住民生活の安定のため、各種の地すべり対策工事を実施した。 (308,699)</p> <p>老朽化したため池や農業用河川工作物の改築、土地改良施設の耐震対策を行い、農地及び農業施設にかかる災害の発生を未然に防止した。 (204,421)</p> <p>流域の開発等によって、雨水が流れ出す状況に変化が生じ、湛水被害が頻発している地域において、排水施設を整備することにより、農用地の被害を防止した。 (377,028)</p> <p>荒廃山地の復旧整備や山地災害の未然防止および地震・津波対策を計画的に実施するとともに、荒廃した森林（保安林）の機能回復・強化を目的とした森林の整備を実施した。 (1,704,995)</p> <p>林野庁所管の地すべり防止区域における地すべり被害を防止・軽減するため、各種の地すべり防止対策を実施した。 (463,913)</p> <p>集落裏山などにおいて、小規模な荒廃森林の復旧整備と地震防災対策のための工事を実施した。 (72,976)</p> <p>津波による塩害等が想定される本県ブランド産地における早期の営農再開への備えとしての農業版BCPの策定に向け、除塩対策実証試験やGISを用いた早期災害復旧システムの構築等を行った。 (5,662)</p> <p>高潮、津波、波浪等による被害を防止することにより国土保全を図るため、椿泊漁港及び中林漁港において海岸保全施設の整備を行った。 (130,352)</p> |
| <p>4 県民等の参画及び協働による潤いと安らぎのある農山漁村の保全</p> | | |

| | | |
|------------------------------|--|--|
| <p>(1) 県民等の農林水産業への参画</p> | <p>緑化運動推進事業</p> | <p>県民の緑化意識を高め、みどり豊かな県土づくりを進めるため、「緑の募金」を通じて緑化活動を展開し、森林や身近な緑に対する県民意識の向上を図るとともに、緑の少年隊の活動を支援した。</p> <p>(2,917)</p> |
| <p>(2) 協働による農山漁村の保全活動の推進</p> | <p>千年の森づくり推進事業</p> <p>とくしま森林づくり推進事業</p> <p>とくしま協働の森づくり事業</p> | <p>県民参加の森づくりの活動拠点として上勝町に設置している「県立高丸山千年の森」の利用促進と適切な管理運営を実施した。</p> <p>(17,640)</p> <p>本県の豊かな森林を未来へと引き継ぐため、県民、企業、行政の各主体がそれぞれの役割に応じた主体的な森林づくり活動を推進するため、普及啓発や森林づくりリリーダー養成等の取組みを実施した。</p> <p>(1,400)</p> <p>二酸化炭素を活発に吸収する健全な森林を増加させるため、カーボン・オフセットの仕組みを森づくり分野に導入し、企業や県民等からの寄付金を活用し、植林や間伐等の森林整備を実施した。</p> <p>(8,176)</p> |

Ⅲ 歳入歳出決算額
 1 一般会計決算額
 (1) 歳入決算額

| 区 分 | 予 算 現 額 | 調 定 額 | 収 入 済 額 | 不 納 欠 損 額 | 収 入 未 済 額 | 予 収 と 現 額 と の 比 較 |
|-----------------------------|----------------|----------------|----------------|-----------|-----------|-------------------|
| 農 林 水 産 政 策 課 | 353,777,000 | 337,540,511 | 337,540,511 | 0 | 0 | △ 16,236,489 |
| もうかるブランド推進課 (六次化・輸出戦略室) | 66,123,000 | 63,085,065 | 63,085,065 | 0 | 0 | △ 3,037,935 |
| 畜 産 課 | 64,399,000 | 26,730,265 | 26,730,265 | 0 | 0 | △ 37,668,735 |
| 水 産 調 整 室 () (漁 業 課) | 1,902,933,186 | 1,049,790,998 | 1,049,790,998 | 0 | 0 | △ 853,142,188 |
| 農 林 水 産 総 合 技 術 支 援 セ ン タ ー | 421,846,000 | 441,342,479 | 441,342,479 | 0 | 0 | 19,496,479 |
| 農 村 振 興 課 | 1,707,045,000 | 1,409,772,125 | 1,409,772,125 | 0 | 0 | △ 297,272,875 |
| 農 業 基 盤 課 | 4,929,388,000 | 2,679,349,924 | 2,679,341,300 | 8,624 | 0 | △ 2,250,046,700 |
| 林 業 戦 略 課 (次世代プロジェクト推進室) | 9,480,316,800 | 8,356,760,657 | 8,356,760,657 | 0 | 0 | △ 1,123,556,143 |
| 森 林 整 備 課 | 6,145,984,800 | 3,635,781,073 | 3,632,438,073 | 0 | 3,343,000 | △ 2,513,546,727 |
| 計 | 25,071,812,786 | 18,000,153,097 | 17,996,801,473 | 8,624 | 3,343,000 | △ 7,075,011,313 |

(単位:円)

(2)歳出決算額

(単位:円)

| 区 | 分 | 予算現額 | 支出額 | 翌年度繰越額 | 不用額 | 予支と 算出の 現額と 比較 |
|----------------------------|---|----------------|----------------|----------------|-------------|-------------------------|
| 農林水産政策課 | | 1,125,160,000 | 1,100,432,354 | 0 | 24,727,646 | 24,727,646 |
| もうかるブランド推進課 (六次化・輸出戦略室) | | 388,741,000 | 374,964,012 | 0 | 13,776,988 | 13,776,988 |
| 畜産課 | | 606,068,000 | 555,801,089 | 38,825,000 | 11,441,911 | 50,266,911 |
| 水産調整室) | | 3,828,537,509 | 2,251,809,086 | 1,451,539,148 | 125,189,275 | 1,576,728,423 |
| 農林水産総合技術 支援センター | | 4,747,163,000 | 4,709,138,086 | 0 | 38,024,914 | 38,024,914 |
| 農村振興課 | | 2,487,093,000 | 1,973,513,990 | 501,731,500 | 11,847,510 | 513,579,010 |
| 農業基盤課 | | 10,129,128,000 | 6,871,373,164 | 3,049,046,000 | 208,708,836 | 3,257,754,836 |
| 林業戦略課 (次世代プロジェクト推進室) | | 11,312,470,600 | 9,598,973,006 | 1,198,716,110 | 514,781,484 | 1,713,497,594 |
| 森林整備備課 | | 10,650,214,215 | 6,071,408,656 | 4,535,855,000 | 42,950,559 | 4,578,805,559 |
| 計 | | 45,274,575,324 | 33,507,413,443 | 10,775,712,758 | 991,449,123 | 11,767,161,881 |

2 特別会計決算額
(1) 歳入決算額

| | | (単位:円) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|--------------------|---|---|-------------|-------------|-------------|---|------------|-------------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|--|--|--|--|--|
| 区 | 分 | 会 | 計 | 名 | 予 | 算 | 現 | 額 | 調 | 定 | 額 | 収 | 入 | 済 | 額 | 不 | 納 | 欠 | 損 | 額 | 収 | 入 | 未 | 済 | 額 | 予 | 算 | 現 | 額 | と | 予 | 算 | 現 | 額 | と | の | 比 | 較 | | | | | |
| | | 農業改良資金貸付金 特別会 | 計 | | 40,493,000 | 119,663,063 | 99,694,049 | 0 | 19,969,014 | 59,201,049 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 林業改善資金貸付金 特別会 | 計 | | 5,723,000 | 263,899,807 | 258,272,405 | 0 | 5,627,402 | 252,549,405 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 沿岸漁業改善資金 貸付金特別会 | 計 | | 38,190,000 | 198,377,375 | 198,377,375 | 0 | 0 | 160,187,375 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 計 | | | 84,406,000 | 581,940,245 | 556,343,829 | 0 | 25,596,416 | 471,937,829 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 県有林県行造林事業 特別会 | 計 | | 137,028,000 | 127,234,233 | 127,234,233 | 0 | 0 | △ 9,793,767 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 港湾等整備事業 特別会 | 計 | | 79,000 | 1,326,608 | 1,326,608 | 0 | 0 | 1,247,608 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 計 | | | 137,107,000 | 128,560,841 | 128,560,841 | 0 | 0 | △ 8,546,159 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 合 | 計 | | 221,513,000 | 710,501,086 | 684,904,670 | 0 | 25,596,416 | 463,391,670 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

農林水産政策課

林業戦略課

(2)歳出決算額

(単位:円)

| 区 分 | 会 計 名 | 予 算 現 額 | 支 出 済 額 | 翌年度繰越額 | 不 用 額 | 予 算 現 額 と 支 出 済 額 と の 比 較 |
|---------|----------------------|-------------|-------------|--------|------------|---------------------------|
| 農林水産政策課 | 農業改良資金貸付金 特 別 会 計 | 40,493,000 | 35,211,339 | 0 | 5,281,661 | 5,281,661 |
| | 林業改善資金貸付金 特 別 会 計 | 5,723,000 | 492,997 | 0 | 5,230,003 | 5,230,003 |
| | 沿岸漁業改善資金 貸付金特別会計 | 38,190,000 | 38,045,453 | 0 | 144,547 | 144,547 |
| | 計 | 84,406,000 | 73,749,789 | 0 | 10,656,211 | 10,656,211 |
| 林業戦略課 | 県有林県行造林事業 特 別 会 計 | 136,728,000 | 126,879,817 | 0 | 9,848,183 | 9,848,183 |
| | 港湾等整備事業 特 別 会 計 | 79,000 | 21,500 | 0 | 57,500 | 57,500 |
| | 計 | 136,807,000 | 126,901,317 | 0 | 9,905,683 | 9,905,683 |
| 合 計 | | 221,213,000 | 200,651,106 | 0 | 20,561,894 | 20,561,894 |

